

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

Weekly Report

ウィークリー・レポート

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
TEL 0572-25-5100
FAX 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP http://tajiminishi.jimdo.com
会長 加藤 真左子
幹事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2479 例会 2017 年 9 月 21 日

9 月は基本的教育と識字率向上月間

ロータリーの友月間

お祝い例会

場所：オースタット国際ホテル

9 月のお祝い

お誕生日

14 日 石垣智康君 21 日 佐藤八郎君
23 日 今井義郎君
3 日 森田千智様 (宏治君夫人)
18 日 関谷昌子様 (好弘君夫人)
24 日 山田ゆう子様 (正史君夫人)

結婚記念日

22 日 大澤大二君



着信書類

- ・2017-18 年度後期世界社会奉仕補助金のご案内
- ・地区大会信任状証明書提出のお願い
- ・恵那 RC より 55 年の歴史 「つなげよう輪の力」

他クラブ例会変更お知らせ

多治見リバーサイド RC → 9 月 26 日 (火)

移動例会 オースタット国際ホテル

瑞浪 RC → 9 月 30 日 (土) 点鐘 16:30

相生座 納涼歌舞伎観劇

瑞浪 RC → 10 月 6 日 (金) 点鐘 11:30

国際陶磁器フェスティバル例会ランチ

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 奉仕の理想
四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

IGM(B グループ報告) リーダー 齋藤 明

お祝い

お誕生日

結婚記念日



点 鐘

移動例会の記録

母子・父子と共に修道院でのふれあい活動

日時：9月16日（土）午前10時30分～

場所：神言会 多治見修道院

● 出席報告

会員数 37名 免除者 3名 出席義務者 34名

出席者	欠席者	出席率
24名	13名	70.58%

参加者 8世帯 22名

母子父子寡婦福祉会役員 4名

多治見市社会福祉協議会職員 2名

● スマイル報告 投函者 1名 2,000円

伊藤正雄実行委員長活動報告

「2017年9月16日 多治見市母子・父子と共に修道院でのふれあい活動」への参加、皆さんありがとうございました。私達会員以外に22名、社会福祉協議会役員2名、寡婦福祉会役員4名の参加を得て実現しました。昨年末の企画以来、数回の会議を経て実現したことは会員各位のご協力の賜物だと思います。心より御礼申し上げます。

多治見修道院での移動例会は多治見西クラブはじめての経験でした。AM9:00時集合し、同10:30 移動例会「第2478例会」を開会しました。例会卓話には神父様の、ミサ「愛について」「君は愛されるために生まれた」がありました。とても神秘的な「お話と」「歌」でした。その後、花井先生の「パイプオルガン」の演奏、子供達も熱心に聞きました。同11:45例会閉会后、記念写真を撮り全員で移動し同11:50バーベキュー大会を開始しました。「雨の中」にもかかわらず母子・父子家族の笑顔に囲まれながら会員柴田君の子供達へのトーク交えて一生懸命焼いたお肉などを会員全員で配膳し和やかに過ごしました。途中マジックの披露があり子供達の楽しい声は、晴天時の「青空」よりも「碧い」いい気持ちになりました。

最後に子供達と共に全員で後片付けを行ってPM14:10無事終了解散しました。今回のこういった奉仕事業が毎年度の多治見西ロータリークラブ事業に計画されることを期待し報告を致します。



教会



神父様



パイプオルガン演奏

IGM (Bグループ) 報告 大澤大二

9月14日(木)松正 18:00

(リーダー) 齋藤 明 (サブリーダー) 大澤大二
(R情報) 山下智久 (執行部) 山田正史
伊藤正雄 安藤龍介

6人のメンバーによる丁度よいサイズの集まりで、今期共通のテーマ「どう変わるのか?」について「屈託のない意見をお聞かせ下さい」と始まりました。がやはり今のままではどうしようもない、増強して新人が入らないことには存続もできない。如何に増強して人員を増やしていくことがどう変わるかということであるとの認識から、増強の話になりました。まず各会員がこのままでは西クラブの存続が危ういという危機感を持って、人を特に若い人を入れなくてはならないという意見が出ました。各人、陰ではいろいろと勧誘を続けているのだが中々結果に結びついていないという意見に対し、他クラブの勧誘の仕方の紹介がありました。それは並大抵では入会してもらえないので、何回も何回も成功するまで訪問し続ける。また1年でもよいから入って下さいと頼み込んで15人増強に成功した事例の報告もありました。(勿論その際は、新人が入ってよかったと思われる内容がなければならぬのは当然です。) その他の意見として、成功した人の話を聞きたいというニーズもあるので、卓話者に最適な人を選んだらどうか。昔と比べてプライドも無くなった、新人と話す機会も乏しい。規律も薄れてきている。I.G.M.を年2回開催したらどうか。その2回目は期末に行い、年初のI.G.M.で提案されたことがどの程度実行されてどのような効果があったか検証して、次期につなげたらよい。など、有益なものがありました。その後会食に移り昔の話、楽しい話、他クラブの内情など例会では聞けないような話が満載でした。昔話が出るということは、それだけ長い歴史があり各会員はいろいろな経験を積んできたということですが、只今我々は胸突き八丁、これがまた長く続くのか否か、5年後10年後を考えて今行動することが肝要、そんな事を感じさせたIGM Bグループでした

今後の予定

9月28日 振替休会

10月5日 定例理事会 11:30～

卓話 アダプトゲン製薬株式会社

代表取締役 林 博道様

「健康食品と地域経済」

